APIR 一般財団法人 アジア太平洋研究所
ASIA PACIFIC INSTITUTE OF RESEARCH

Kansai Economic Insight Monthly

2016/3/28
Vol.35 February/March

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第 3 週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

要 旨

✓ 1月の鉱工業生産指数は3カ月ぶりの前月比プラス。実質輸出の増加を受けて、生産は増加となった。

✓ 2月の貿易収支は2カ月ぶりの黒字。輸出は5カ月連続の前年比マイナス。為替レートは前年比円高に転じている。輸入は6カ月連続の同マイナス。

✓ 2月の消費者態度指数、景気ウォッチャー調査(現状判断DI)はともに悪化。消費マインドは停滞感が強い。先行き見通しは小幅上昇したものの、経済環境の厳しさやインバウンド需要に一服感が見られる。

✓ 11月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月連続で低下。一方、12月の「関西コア」賃金指数は3カ月ぶりの上昇となったが、今後も同程度の伸びが継続するかは見極めづらい。

✓ 1月の大型小売店販売額は2カ月連続の前年比プラス。好調なスーパーの伸びに対して、百貨店の伸びはマイナスとなった。

✓ 1月の新設住宅着工戸数は3カ月ぶりの前年比プラス。2月関西のマンション契約率は2カ月連続の70%台。

✓ 1月の有効求人倍率は横ばいだったが、1991年6月以来の高水準が続く。新規求人倍率も3カ月連続の上昇。完全失業率も前月から改善しており、雇用環境は好調である。

✓ 2月の公共工事請負金額は2カ月ぶりの前年比大幅プラス。1月の建設工事は5カ月連続の同マイナス。建設工事は引き続き停滞している。

✓ 2月関空の訪日外客数は50万2,930人と37カ月連続のプラス。

✓ 中国2月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は前月から下落し、7カ月連続で50を下回った。2011年11月に並ぶ低水準。非製造業購買担当者景況指数も2カ月連続の下落。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	12
Release Calendar	13

【関西経済のトレンド】

	2015年											2016年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
生産	↘	↗	↘	↘	↗	→	↘	↗	↗	↘	↘	↗	
貿易	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	→	↗
センチメント	↗	↗	→	↘	↗	↘	↘	↘	→	↘	↗	↘	↘
消費	↗	↘	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	→	→	↗	↗
住宅	↘	→	↘	↗	↗	→	→	→	↗	→	↘	↗	↗
雇用	→	→	↗	↗	→	↗	↗	↗	→	↗	↗	→	
公共工事	↘	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↗
中国	→	↘	↘	→	→	→	↘	→	→	→	↘	↘	↘

【鉱工業生産動向】

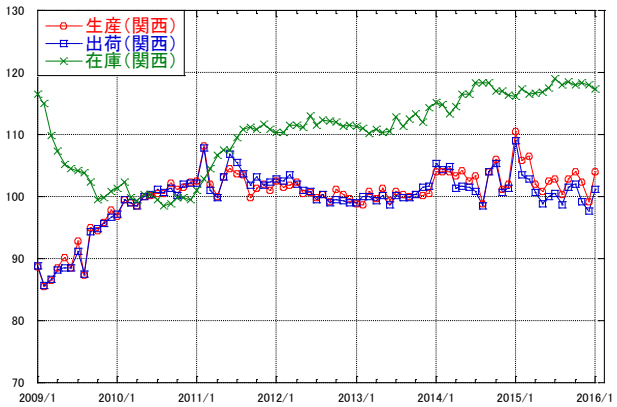
（1）関西の生産動向

2016年1月の鉱工業指数(確報値:季節調整済)を見ると、生産は104.1で前月比+4.9%、出荷は101.2で同+3.6%といずれも3カ月ぶりの上昇。一方、在庫は117.4で同-0.6%と2カ月連続の下落となった。

業種別に生産指数をみると、金属製品(同+25.2%, 2カ月連続)、電子部品・デバイス(同+20.8%, 2カ月ぶり)、はん用・生産用・業務用機械(同+6.0%, 3カ月ぶり)等が増産となった。一方、化学(除．医薬品)(同-1.1%, 4カ月連続)、窯業・土石製品(同-2.3%, 3カ月ぶり)、その他工業(同-2.5%, 2カ月ぶり)等が減産となった。

実質輸出の増加が示すように、足下、関西の生産は大幅な増加となった。なお、2月の実質輸出はマイナスとなっており、減産が予想される。

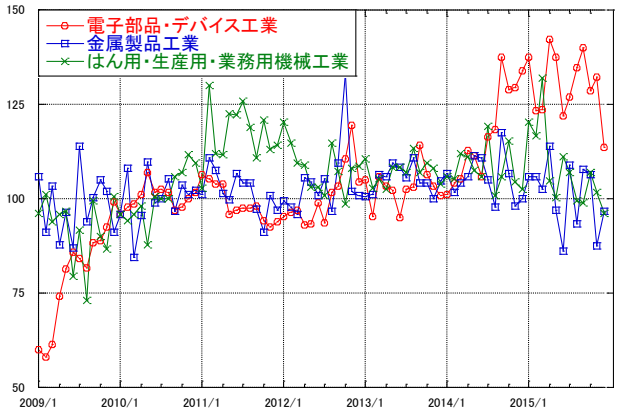
鉱工業指数の推移(関西：2016年1月まで、平成22年=100)



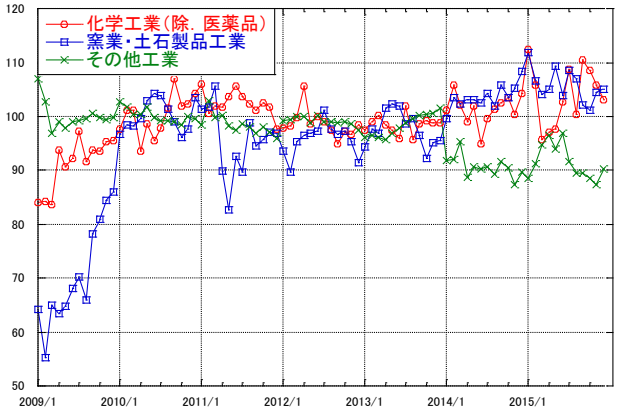
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016 年 1 月まで、平成 22 年=100)



業種別生産指数の推移（続き）



（注）福井県を含む。

（出所）近畿経済産業局「近畿経済の動向」

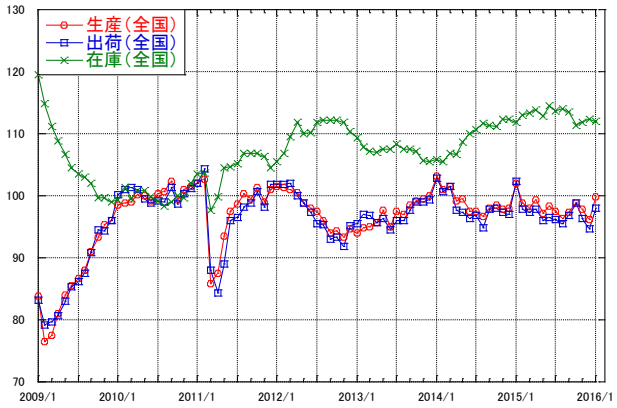
（2）全国の生産動向

全国における 1 月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は 99.8 となり前月比+3.7%、出荷は 98.0 で同+3.5%といずれも 3 カ月ぶりの上昇。一方、在庫は 112.1 で同-0.2%と 3 カ月ぶりの下落となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同+7.2%)、輸送機械(同+2.9%)、電子部品・デバイス(同+6.3%)等を中心に増産となった。一方、石油・石炭製品(同-1.2%)、窯業・土石製品(同-0.3%)は減産となった。

速報の製造工業生産予測調査によれば、2 月は同-5.2%の減産、3 月は+3.1%の増産となっている。

鉱工業指数の推移（全国：2016 年 1 月まで、平成 22 年=100)



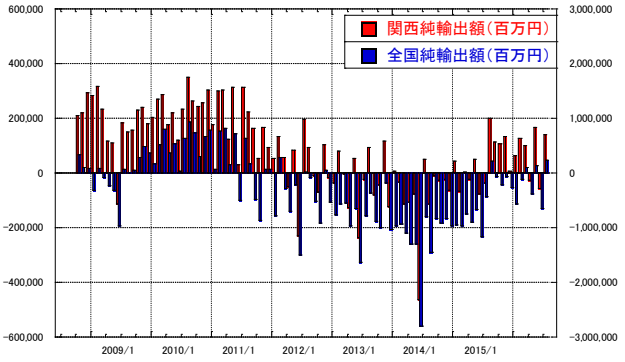
（出所）経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

（1）純輸出

貿易概況(速報値)によれば、2 月関西の貿易収支は+1,394 億円と 2 カ月ぶりの黒字となり、貿易収支は前年同月比 1,764 億円改善した。全国の貿易収支(速報値)も 2,428 億円と 2 カ月ぶりの黒字となったが、貿易収支は前年同月比 6,688 億円改善した。

貿易収支(百万円)：関西(左軸)・全国(右軸)推移(2016 年 2 月まで)



（出所）大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

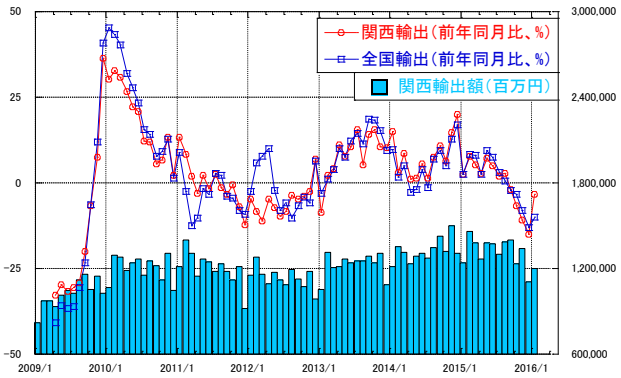
（2）輸出

関西 2 月の輸出額(速報値)は 1 兆 1,998 億円。前年同月比-3.4%減少し、5 カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器の輸出が減少した。

全国２月の輸出額(速報値)は５兆7,034億円、前年同月比-4.0%と５カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、鉱物性燃料、科学光学機器の輸出が減少。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は117.36円と前年同月比+0.6%の円高となった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2016年２月まで)

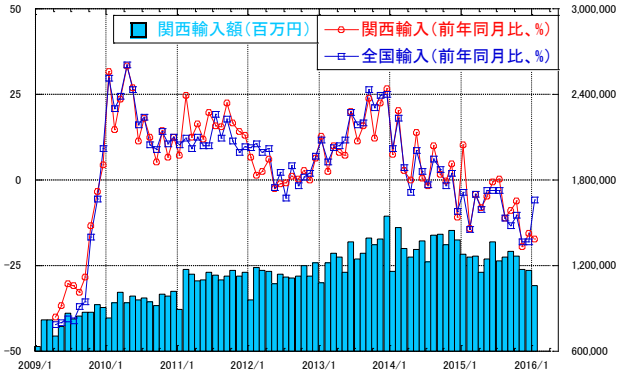


(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

（３）輸入

関西２月の輸入額(速報値)は１兆605億円、伸びは前年同月比-17.1%と６カ月連続の減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油が減少した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2016年２月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

全国２月の輸入額(速報値)は５兆4,606億円、前年同月比-14.2%と 14 カ月連続の減少。財別に見れば、液化天然ガス、原粗油、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き大幅低下傾向にあり、結果、輸入額は関西、全国ともマイナスが続いている。

（４）関西の地域別貿易

関西２月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,729 億円と ２ カ月ぶりの黒字。前年同月から+319.1%改善した。輸出は４カ月連続の減少(同-3.2%)。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器等が減少した。輸入は６カ月連続の減少(同-20.5%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品等が減少した。輸入の大幅な減少により貿易黒字に転じた。

うち、対中貿易収支は-717億円と48カ月連続の赤字も、赤字幅は２カ月ぶりに前年同月から縮小(同-60.3%)。輸出は５カ月ぶりに増加(同+0.4%)。輸入は６カ月連続の減少(同-24.8%)となった。

対米貿易収支は+817億円と黒字基調が続いているが、黒字幅は５カ月ぶりに前年から拡大(同+2.1%)。うち、輸出は４カ月連続のマイナス(同-1.5%)。財別に見れば、鉄鋼、事務用機器等が減少した。輸入は ２ カ月ぶりの減少(同-4.3%)。財別に見れば、無機化合物、有機化合物等が減少。

対EU貿易収支は-62億円と２カ月連続の赤字となり、赤字幅は前年同月から76億円悪化した。輸出は５カ月連続の減少(同-1.3%)。財別に見れば、有機化合物、自転車及び同部分品等が減少した。輸入は２カ月連続の増加(同+4.7%)。財別に見れば、医薬品、肉類及び同調製品等が減少した。

【消費者センチメント】

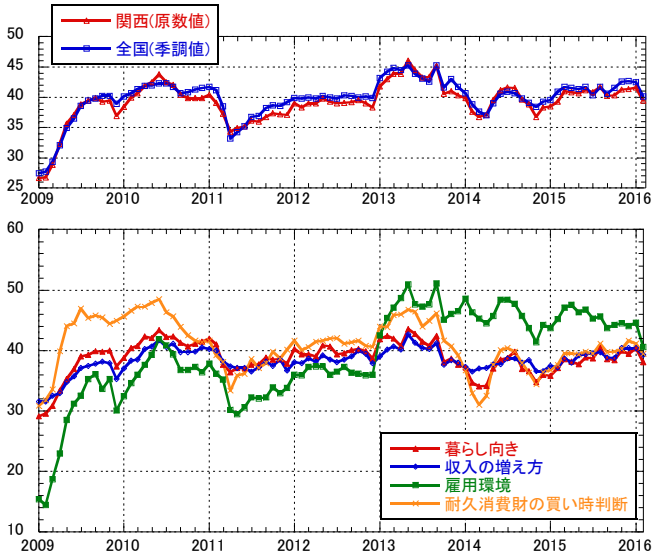
（１）消費者態度指数の動向

関西の２月の消費者態度指数(原数値)は前月比-2.2ポイントの39.4と悪化。５カ月ぶりのマイナス。全国(季節調整値)でも同-2.4ポイントの40.1と２カ月連続のマイナス。第２

次安倍政権が誕生して以来２番目の低下幅で、2015 年１月(39.5)以来の低水準となった。年明けから続く中国経済の減速や株価下落、円高等金融市場の不安定な動きから、景気の先行き不透明感が増している。内閣府は消費者心理の基調判断を、前月の「持ち直しのテンポが緩やかになっている」から、「足踏みがみられる」と２カ月連続で下方修正した。

関西で同指数の構成項目をみると、全ての項目で前月から低下した。特に「雇用環境」が前月比-4.0 ポイント大幅悪化(2 カ月ぶり)となり、「暮らし向き」が同-2.3 ポイント(2 カ月ぶり)、「耐久消費財の買い時判断」が同-1.6 ポイント(2 カ月連続)、「収入の増え方」は同-1.1 ポイント(4 カ月ぶり)悪化した。消費マインドは停滞感が強い。

消費者態度指数(2016 年２月まで)



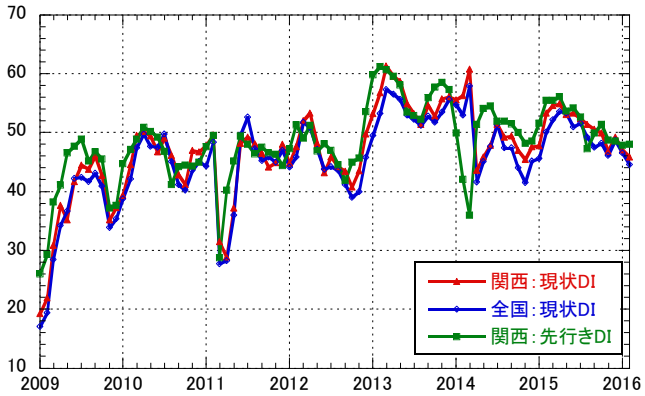
(出所) 内閣府 「消費動向調査」

（２）景気ウォッチャー指数の動向

関西の 2 月の現状判断 DI は前月比-1.2 ポイント低下し 45.9 となり、2 カ月連続の悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる 50 を 5 カ月連続で下回った。2 月に入り寒さが戻ったことで冬物商材の売上増加や、春節によるインバウンド消費の押し上げがあった一方で、株価の低下や１月末に導入されたマイナス金利、消費税の再増税を控え、必要な商品を厳選して購入するといった選択的な消費行動などが悪化に寄与したとみられる。全国も同-2.0 ポイント低下し 44.6 となり、こちらも 2 カ月連続の悪化。判断の分かれ目となる 50 を７カ月連続で下回った。

また、先行き判断 DI は、関西では 48.0 と前月比+0.1 ポイント上昇し、4 カ月ぶりの改善。中国経済の減速による経済への悪影響や、インバウンド需要の増勢に一服感が見られるといった懸念はあるものの、春先に予定されているレジャーやイベントなどへの期待もあり小幅改善となった。

景気ウォッチャー調査(2016 年２月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

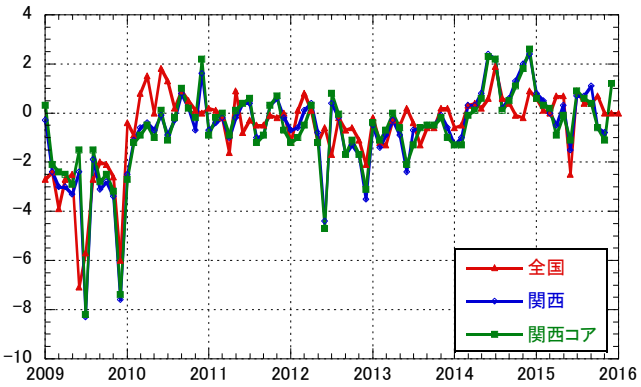
【所得・個人消費・住宅】

（１）現金給与総額

11 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 26 万 9,213 円で前年同月比-0.8%となり、2 カ月連続で低下した。府県別では、奈良県が同+3.3%(2 カ月ぶり)、和歌山県が同+2.8%(3 カ月ぶり)、兵庫県が同横ばい。一方、大阪府が同-0.8%(3 カ月ぶり)、滋賀県が同-2.0%(4 カ月ぶり)、京都府が同-4.2%(3 カ月連続)のマイナスとなった。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は 12 月に前年同月比+1.2%となり 3 カ月ぶりに上昇したものの、今後も同程度の伸びが継続するかは見極めづらい。

現金給与総額(前年同月比：%、2016 年 1 月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)は APIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成 23 年平均)で加重平均。
(出所) 厚生労働省 「毎月勤労統計調査」

全国(確報値)の現金給与総額をみると、1 月は前年同月比横ばいとなり、3 カ月連続の横ばいとなった。内訳をみると、所定内給与は同-0.1%と 13 カ月ぶりのマイナス、所定外給与も同-1.0%と 7 カ月ぶりのマイナス。一方、特別給与は同+3.0%と 3 カ月ぶりのプラス。速報時では特別給与は+7.1%の上昇だったが、確報では大きく低下した。そのため、現金給与総額全体の伸びは横ばいにとどまった。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同横ばい。賃金の伸びは停滞している。

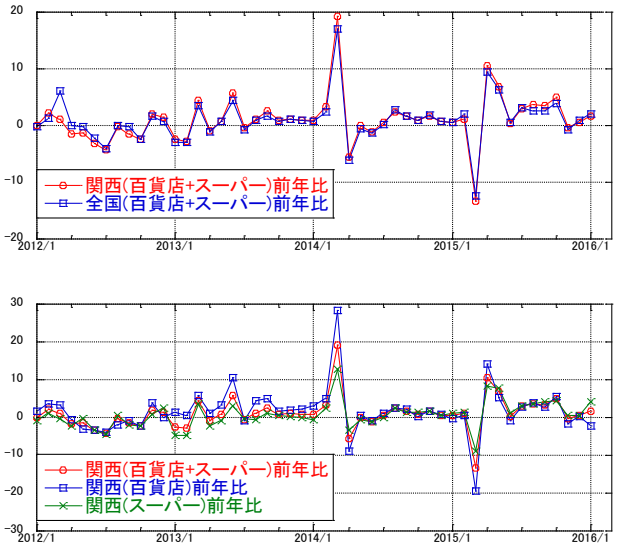
（2）大型小売店販売額

関西 1 月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+1.6%の増加と 2 カ月連続のプラス。百貨店は同-2.2%減少し、2 カ月ぶりのマイナス。スーパーは同+4.2%と 10 カ月連続のプラス。

全国 1 月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.1%と 2 カ月連続のプラスとなっている。

足下、関西の大型小売店販売額は、スーパーが好調となっている一方で、百貨店の売り上げは減少となった。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2016 年 1 月まで)



(注) 福井県を含む。 (出所) 経済産業省「商業動態統計」

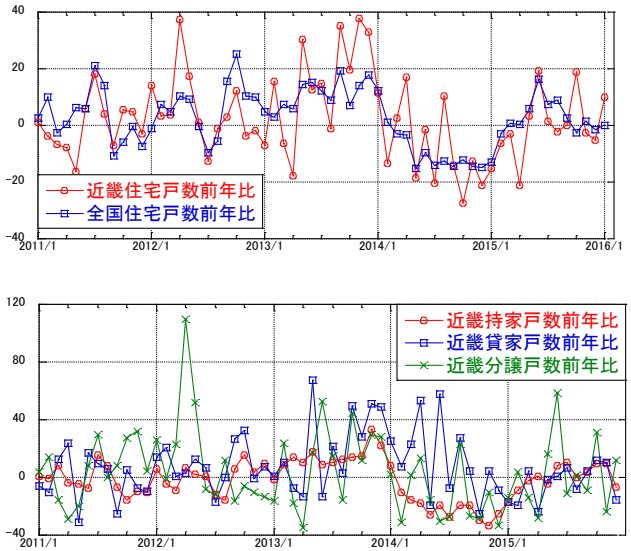
（3）新設住宅着工の動向

関西 1 月の新設住宅着工戸数は 10,581 戸。前年同月比+10.2%と 3 カ月ぶりのプラス。全国は 67,815 戸と同+0.2%増加し、2 カ月ぶりのプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は 2,605 戸。同+4.0%と 2 カ月ぶりのプラス。貸家は 4,023 戸、同+12.1%と 2 カ月ぶりの大幅プラス。分譲は 3,797 戸、同+12.4%大幅増加し、2 カ月連続のプラス。

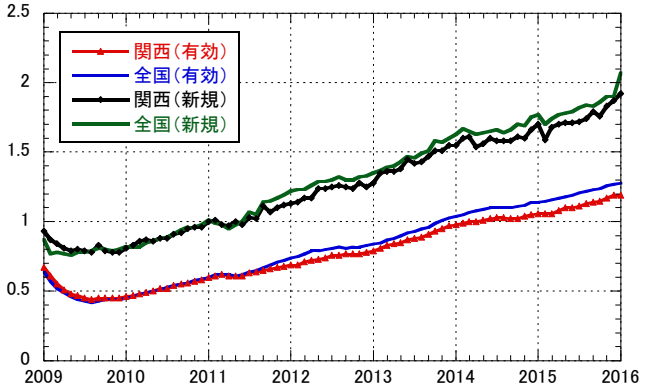
2 月の関西マンション契約率は 76.8%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる 70%を 2 カ月連続で上回った。首都圏は 72.9%(季節調整値、APIR 推計)と、前月(60.9%)から大きく上昇した。

新設住宅着工(前年同月比：%、2016 年 1 月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

有効求人倍率の推移（季節調整値、2016 年 1 月まで）



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西 2 府 4 県有効求人倍率(2016 年 1 月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1月	1.28	1.19	1.10	1.28	1.27	1.05	1.11	1.08
12月	1.27	1.19	1.10	1.26	1.29	1.04	1.10	1.09

【雇用動向】

（1）求人倍率の動向

1 月の関西の有効求人倍率は、1.19 倍で前月比横ばい。1991 年 6 月(1.22 倍)以来の高水準が続いている。1 月の全国は 1.28 倍で同+0.01 ポイント小幅上昇。1991 年 12 月(1.31)以来、24 年ぶりの高水準となった。雇用情勢は堅調である。なお、今月より季節指数が改定されている。

府県別では、京都府で前月比+0.02 ポイント、兵庫県・奈良県で同+0.01 ポイント上昇。滋賀県は同横ばい、和歌山県で同-0.01 ポイント、大阪府で同-0.02 ポイント低下した。

1 月の関西の新規求人倍率は、1.92 倍と前月比+0.05 ポイント上昇。3 カ月連続の上昇。全国は 2.07 倍と同+0.17 ポイント上昇した。

大阪の産業別新規求人数は、前年比+2.3%で 4 カ月連続の増加。建設業、飲食・宿泊サービス、生活関連サービス業、医療・福祉で増加した。

（2）完全失業率の推移

1 月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は3.1%で前月比-0.6%ポイント改善。労働力人口と就業者数がいずれも 2 カ月連続で増加していることから、職探しが就業に結びついていると考えられる。雇用環境は好調である。なお、今月より季節指数を改定した。

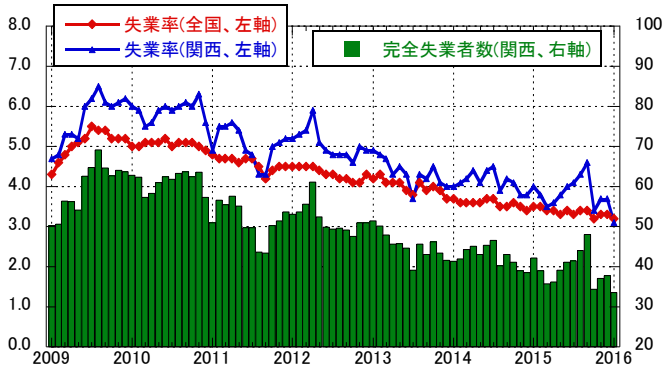
関西の完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は 33.6 万人で前月から-4.2 万人減少。3 カ月ぶりのマイナス。

全国の完全失業率(季節調整値)は 3.2%と前月比-0.1%ポイント小幅改善。3 カ月ぶりの低下。

1 月の全国の完全失業者数(季節調整値)は 212 万人と前月比-9 万人減少。非労働力人口が前月比 43 万人減少。就業者数が同 61 万人増加しており、うち女性が 50 万人であった。人手不足感の高まりを受け、女性を中心に職探しが就職に結びついたとみられる。

15～64 歳の就業率(原数値, 全国ベース)は 73.7%で前年比+1.2%ポイント上昇。うち女性は同+2.1%ポイント上昇した。

完全失業率の推移（季節調整値：%、万人、2016年1月まで）



（出所）総務省「労働力調査」

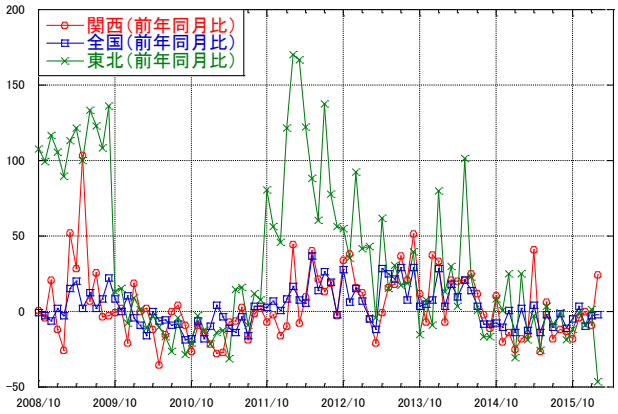
【公共投資】

（1）公共工事請負金額

関西 2 月の公共工事請負金額は 800 億円で前年同月比+24.3%と 2 カ月ぶりに大幅増加となった。全国は 6,968 億円で同-2.2%と 3 カ月連続の減少。東北は 990 億円で同-46.5%と 2 カ月ぶりの大幅マイナス。復興事業の遅れの影響も考えられるが、請負ベースでは大幅な減少となった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は 2 カ月ぶりに前月から大幅増加、全国は 2 カ月連続の増加となった(関西：同+15.3%、全国：同+4.1%)。

公共工事請負金額(前年同月比：%、2016年2月まで)

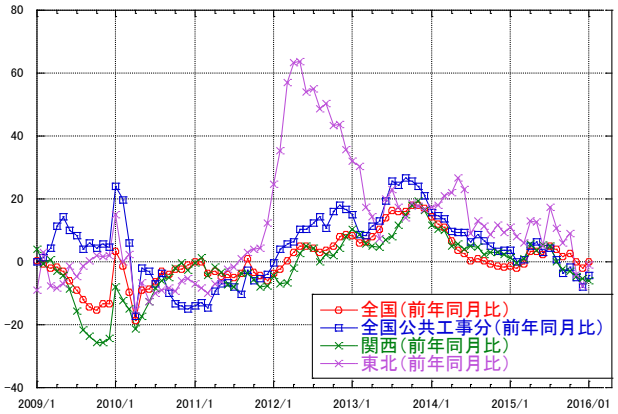


（出所）東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

（2）建設工事

関西 1 月の建設工事は 5,646 億円、前年同月比-6.0%と 5 カ月連続で減少した。東北は 5,919 億円、同-1.0%と 3 カ月連続の減少。全国は 4 兆 6,111 億円となり、同+0.0%と 3 カ月ぶりの横ばい。うち、全国の公共工事は 2 兆 939 億円で同-4.3%と 5 カ月連続のマイナスとなった。全国、関西、東北の建設工事はいずれも停滞が続いている。

建設工事(前年同月比：%、2016年1月まで)



（出所）国土交通省「建設総合統計」

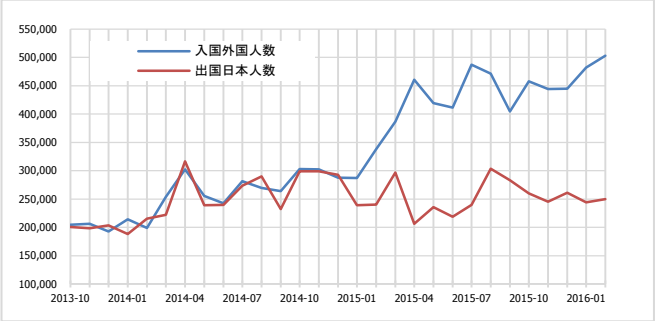
【関空モニター】

（1）訪日外客数トレンド

2 月の関空への訪日外客数は 50 万 2,930 人、前年同月比+48.8%と 37 カ月連続のプラスと記録的な水準となったものの、伸びは高水準だった前月(+68.0%)から減速した。外国人旅客総合数(出国・入国含め)は 103 万 4,950 人(同+50.5%)となり、統計観測以来、初の 100 万人を突破した。

一方、出国日本人数は 24 万 9,720 人、同+4.0%と 2 カ月連続で増加した。

訪日外客数と出国日本人数(人，2016 年 2 月まで)

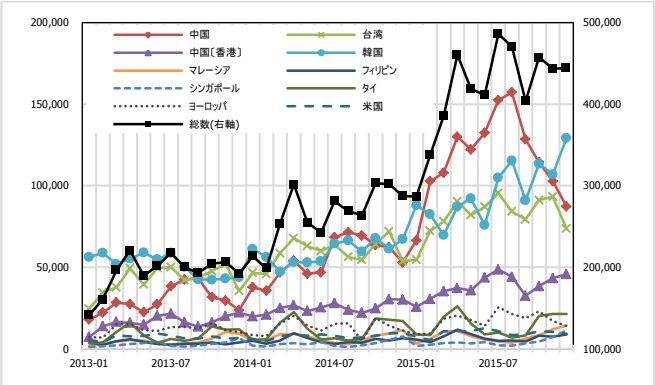


(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

（2）地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、12 月は韓国からの入国者数が 12 万 9,295 人(前年同月比+92.5%)と最も多かった。次いで、中国(香港を除く)が 8 万 7,186 人(同+64.7%)と多かったが、11 カ月ぶりに 10 万人の水準を割り込んだ。台湾からは 7 万 3,589 人(同+37.2%)、中国(香港)からは 4 万 5,692 人(同+51.8%)となった。他のアジア各国からの入国者数は、タイが 2 万 1,248 人(同+25.0%)。マレーシアが 1 万 4,318 人(同+24.7%)、シンガポールが 1 万 1,259 人(同+47.2%)、フィリピンが 8,832 人(同+38.1%)となった。他地域を見ると、ヨーロッパが 1 万 3,818 人(同+23.5%)と 15 カ月連続のプラス。米国からは 9,097 人(同-6.4%)で 16 カ月ぶりのマイナスになった。

地域別訪日外客数(2015 年 12 月：人、右軸：総数、左軸：各国)



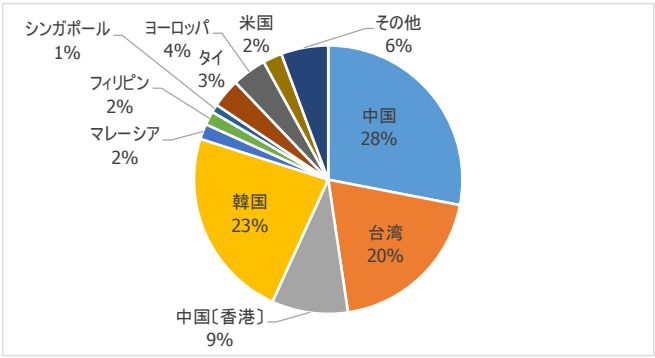
(出所) 法務省「出入国管理統計」

（3）地域別訪日外客数(2015 年総計)

2015 年(暦年)の関空を利用して入国した訪日外国客は 500 万 7,751 人で昨年から+58.0%増加し、歴史的水準になった。

訪日外客数を地域別にみると、最も多いのは中国（香港を除く）が 140 万 4,240 人(前年比+114.5%)。次いで、韓国が 115 万 6,033 人(同+62.7%)、台湾が 98 万 1,551 人(同+39.0%)、中国(香港)は 46 万 132 人(同+53.7%)であった。ヨーロッパからは 20 万 7,630 人(同+32.4%)、タイが 17 万 4,427 人(同+25.6%)、米国が 11 万 5,511 人(同+25.3%)、マレーシアが 9 万 2,810 人(同+14.7%)、フィリピンが 8 万 2,664 人(同+35.5%)、シンガポールが 4 万 8,847 人(同+30.4%)となった。その他の国から 28 万 3,906 人(同+22.3%)であった。

地域別訪日外客数(2015 年(暦年))



(出所) 法務省「出入国管理統計」

【中国景気モニター】

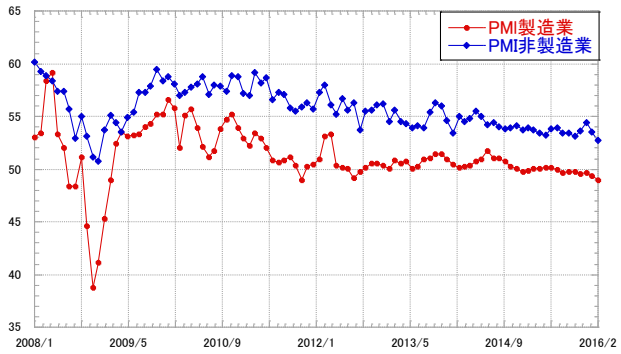
（1）センチメント

2 月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は 49.0 となり、前月から-0.4 ポイント下落し、7 カ月連続で 50 を下回っている。2011 年 11 月(49.0)に並ぶ低水準。また、非製造業購買担当者景況指数は 52.7 となり、前月から-0.8 ポイント下落し、2 カ月連続の下落。2008 年 12 月(50.8)以来の低水準となった。

製造業のうち、生産指数は 50.2 となり、前月から-1.2 ポイント下落。新規受注指数は 48.6 となり、同-0.9 ポイント下落。また、輸出新規受注指数は 47.4 となり、前月から+0.5

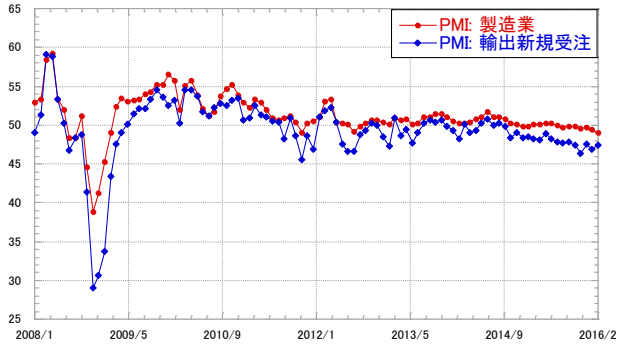
ポイント上昇したものの、低水準が続いている。一方、雇用指数は47.6となり、-0.2ポイント下落した。

中国購買担当者景況指数(2016年2月まで：%)



(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年2月まで：%)



(出所) 中国国家統計局; CEICデータベース

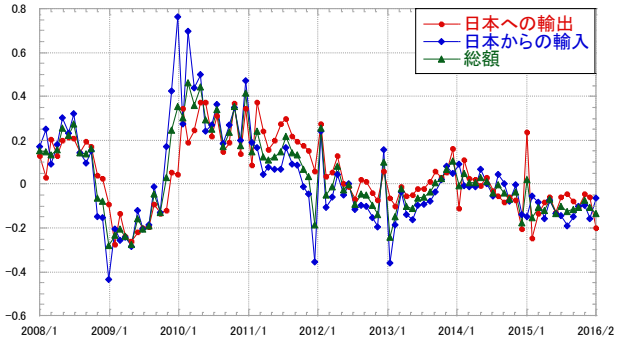
（2）貿易動向

2月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-25.4%と8カ月連続のマイナスとなり、減少幅は前月(同-11.5%)より拡大した。2カ月連続の2桁減。輸入額は同-13.8%(速報値)と16カ月連続のマイナス。こちらも2カ月連続の2桁減。結果、貿易収支は24カ月連続の黒字となったが、黒字幅は+326億ドルに縮小した。

うち、日本への輸出額は同-20.1%と12カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-6.3%と16カ月連続のマイナスとなった。

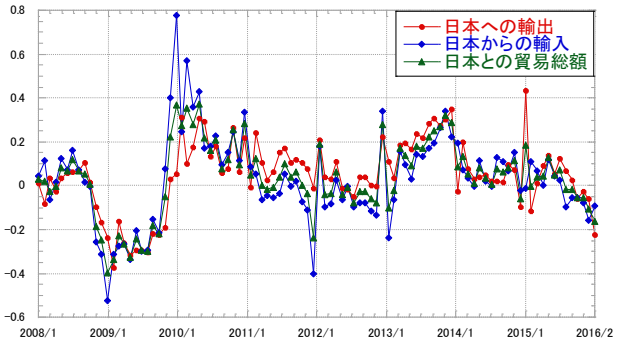
円ベースに換算すると、日本への輸出額は同-22.5%となり、4カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-9.1%、6カ月連続のマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比：ドル・ベース) (2016年2月まで：%)



(出所) 中国税関; CEICデータベース; APIR計算

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2016年2月まで：%)



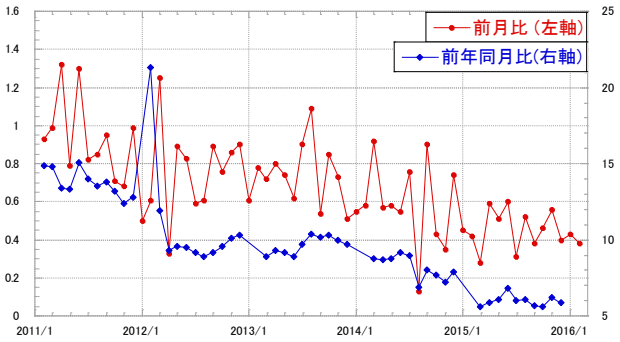
(出所) 中国税関; CEICデータベース; APIR計算

（3）工業生産

2月の工業生産は前月比+0.38%となり、前月から-0.05%ポイント下落した。

産業別に見ると、有色金属圧延加工業(同+10.2%)、食品製造業(同+9.2%)、ゴム・プラスチック製品製造業(同+9.0%)、パソコン・通信設備製造業(同+8.8%)等が高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+3.9%)、専用設備製造業(+3.5%)、電力・熱力生産・供給業(0.0%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2016 年 2 月まで：%)



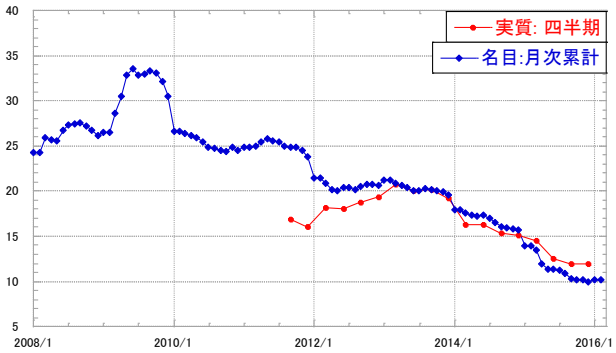
（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（4）固定資産投資

1-2 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+10.2%となり、2015 年 1-12 月期(+10.0%)から+0.2%ポイント小幅上昇。2016 年に入ってからも、低水準が続いている。

産業別にみれば、第 1 次産業は同+34.3%、2015 年 1-12 月期(同+31.8%)より+2.5%ポイント上昇。第 2 次産業は同+7.9%と 1-12 月期(同+8.0%)から-0.1%ポイント低下。第 3 次産業は同+11.1%と 1-12 月期(同+10.6%)から+0.5%ポイント上昇した。

固定資産投資 (2016 年 2 月まで：%) (累積伸び率)

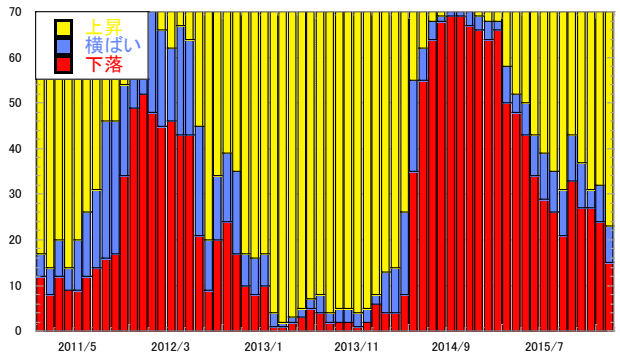


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（5）不動産市場

不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、2 月は 15 都市で前月から下落した。また、47 都市で上昇、8 都市で横ばいとなった。下落した都市の数は 2 カ月連続の減少となった。

新築住宅価格の主要都市集計(2016 年 2 月まで：都市数)



（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

Contact：林万平・木下祐輔・James Brady
Tel. 06-6485-7695,
E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	52.3	54.1	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	48.4	50.9	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	39.3	41.0	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4
[関西]〃暮らし向き(原数値)	37.1	38.5	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1
[関西]〃収入の増え方(原数値)	37.2	38.7	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3
[関西]〃雇用環境(原数値)	45.2	47.1	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	37.6	39.6	39.6	39.4	39.8	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	40.9	41.7	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1
[関西]大型小売店販売額(10億円)	289.7	327.0	310.9	324.8	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.1	-13.4	10.6	6.9	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,498.6	1,715.0	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	2.0	-12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	9,002	10,832	9,823	10,416	14,330	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-6.2	-3.0	-20.9	3.2	19.2	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	67,552	69,887	75,617	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-3.1	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	73.4	76.8	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	69.9	70.4	73.6	70.5	71.8	71.7	79.5	69.3	67.9	68.7	73.4	76.8	0.0
[関西]マンション契約率(原数値)	67.1	72.7	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	67.1	72.0	0.0
[全国]マンション契約率(季節調整値)	74.5	75.2	74.5	72.1	75.4	73.6	76.6	72.3	79.7	80.6	60.9	72.9	0.0
[全国]マンション契約率(原数値)	74.5	79.6	75.5	71.1	78.7	83.7	74.3	66.0	68.8	82.1	58.6	72.9	0.0
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	64.4	112.4	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-18.3	-14.9	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	2.3	-12.4	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2
[関西]建設工事(総合、10億円)	584.1	573.7	467.9	467.5	487.0	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	-0.2	1.0	5.8	3.8	5.4	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,510.3	4,520.2	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	-2.1	-0.7	3.4	3.3	2.5	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,127.4	2,140.9	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	0.2	0.8	4.9	6.4	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	105.9	106.5	102.1	100.9	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.5	104.1	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-4.2	0.6	-4.1	-1.2	1.7	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-2.7	4.9	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-0.7	0.3	-0.6	-4.8	0.0	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-8.6	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	2.2	2.8	1.9	0.3	0.9	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.4	0.7	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	103.6	102.9	100.7	98.8	100.0	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	97.9	101.2	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-5.0	-0.7	-2.1	-1.9	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-1.3	3.6	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	117.4	116.5	116.7	116.9	117.6	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	117.6	117.4	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	1.0	-0.8	0.2	0.2	0.6	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.6	-0.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.9	98.1	99.3	97.2	98.3	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	96.2	99.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-3.1	-0.8	1.2	-2.1	1.1	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.7	3.7	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-2.9	-2.3	0.2	-3.2	1.8	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.8	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	7.0	6.2	6.6	3.9	4.0	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.3	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.9	97.3	97.9	96.0	96.6	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.7	98.0	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-4.4	-0.6	0.6	-1.9	0.6	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.8	3.5	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	113.0	113.4	113.8	112.9	114.6	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.3	112.1	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	1.1	0.4	0.4	-0.8	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.2	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.5	0.0	-0.5	0.3	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	0.3	0.2	-0.9	-0.1	-1.1	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.1	0.0	0.7	0.7	-2.5	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.8	3.5	3.6	3.8	4.0	4.1	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.0	3.6	3.5	3.7	3.9	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.59	1.68	1.70	1.71	1.71	1.72	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.70	1.74	1.77	1.78	1.79	1.82	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.06	1.06	1.08	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.15	1.16	1.17	1.18	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-37.6	201.1	114.9	107.8	134.0	7.8	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-59.4	139.4
[関西]輸出(10億円)	1,242.4	1,459.2	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.8
[関西]輸出(前年同月比%)	2.5	7.9	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4
[関西]輸入(10億円)	1,280.0	1,258.1	1,267.8	1,156.6	1,249.4	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,169.4	1,060.5
[関西]輸入(前年同月比%)	10.2	-14.1	-4.2	-8.1	-4.8	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.3	-17.1

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for Feb/Mar/Apr

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
29-Feb	1-Mar 求人倍率(1 月) 完全失業率(1 月) 中国製造業 PMI (2 月)	2-Mar	3-Mar	4-Mar 毎月勤労統計 (1 月:速報値)
7-Mar	8-Mar 景気ウォッチャー調査 (2 月) 消費動向調査(2 月) 中国輸出入 (2 月: 速報値)	9-Mar 近畿鉱工業生産指数 (1 月速報)	10-Mar 近畿貿易統計 (12 月確報) 近畿貿易統計 (1 月確速)	11-Mar
14-Mar 中国工業生産(2 月) 中国固定資産投資 (2 月) 中国消費小売総額 (2 月)	15-Mar 商業動態調査 (1 月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (1 月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(1 月) マンション契約率 (1 月)	16-Mar	17-Mar 全国貿易統計 (2 月:速報) 建設総合統計(1 月) 近畿貿易統計 (2 月速報)	18-Mar 中国不動産市場 (2 月)
21-Mar	22-Mar	23-Mar	24-Mar 毎月勤労統計 (1 月:確報値)	25-Mar 近畿鉱工業生産指数 (1 月確報)
28-Mar	29-Mar 求人倍率(2 月) 完全失業率(2 月) 商業動態調査 (2 月:速報値)	30-Mar 全国鉱工業生産指数 (2 月:速報値) 全国貿易統計 (2 月:確速)	31-Mar 新設住宅着工(1 月)	1-Apr